

計画策定の概要

策定の目的

近年、「食」をめぐる環境は大きく変化し、本市においても、食に関わる様々な課題が生じており、行政にとどまらず、地域全体で「食」の課題の解決に向けて、総合的、計画的に食育の推進を図るよう「久喜市食育推進計画」を策定します。

計画の位置づけ

- 本計画は、「食育基本法」第18条第1項に基づく食育推進計画です。
- 本計画は、市民の心身の健康と豊かな人間形成をめざした食育推進の目標とその実現のための方策を定めるものです。
- 本計画は、国の食育推進基本計画及び県の食育推進計画との整合を図っています。
- 本計画は、「新市基本計画」、「久喜市健康増進計画」など市の関連計画との整合を図っています。

計画の期間

平成24年度から平成28年度までの5年間とし、社会情勢の変化や計画の進捗状況等により本計画の見直しが必要な場合は久喜市食育推進会議において検討し、適切に実施します。

評価指標

目標達成を評価し見直すため、以下の評価指標を設定します。

指標	対象者	現状 (平成22年度)	目標値 (平成27年度)	備考
朝食を食べない市民の割合 (「ほとんど食べない」)	小学生	1.7%	0%	平成22年度市民の健康・食に関する意識及び実態調査
	中学生	4.0%	0%	
	20歳代男性	11.8%	10%以下	
	20歳代女性	13.5%	10%以下	
	30歳代男性	16.2%	15%以下	
自分にとっての適切な食事の量や内容を知っている市民の割合	16歳以上	63.8%	70.0%	
食育の言葉や意味を知っている市民の割合	小学生	82.6%	90.0%	
	中学生	75.6%		
	16歳以上	82.8%		
食事をよく噛みゆっくり食べる市民の割合	16歳以上	28.7%	35.0%	
地元産食材を優先的に購入する市民の割合	16歳以上	9.1%	15.0%	
学校給食における地元産農産物を使用する割合(米を含む)	小・中学生	33.2%	35.0%	平成22年度実績
毎日きちんとした食事を楽しくゆっくり食べる市民の割合	小学生	72.9%	85.0%	平成22年度市民の健康・食に関する意識及び実態調査
	中学生	49.9%	65.0%	
	16歳以上	57.6%	70.0%	
食文化を伝える市民の割合 (伝えたい料理があり、伝えてい る、今後伝えたい)	16歳以上	59.1%	70.0%	